

# わけぎ球根の調製作業を効率化する球根調製機



現地での利用状況

～ 「わけぎ球根調製機 WA-C3600」を開発・実用化！～

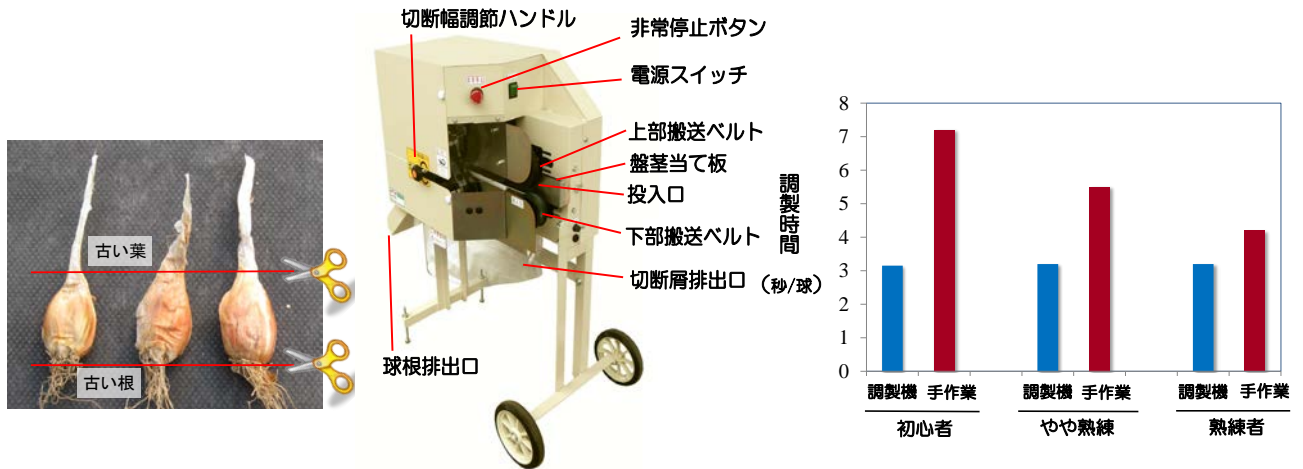
連携機関 | 株式会社太陽  
研究期間 | 平成21～23年度[受託研究]

## 技術支援のきっかけ

- ◆広島県が全国一位の生産量を誇るわけぎの栽培では、球根を植え付ける前に手作業により古い葉と根を切断する調製作業を行います。
- ◆球根の調製作業は、1作10aあたり最大83時間(5万球)と長時間の作業であり、効率化が望まれていました。

## 技術支援の内容

- ◆球根調製作業の効率化が可能な球根調製機を開発しました。
- ◆機体寸法はW660×L450×H870mm、重量は35kg、定格電力はAC100V80Wです。
- ◆盤茎(根元)の大きさに応じて球根を「盤茎当て板」に押し当て「投入口」に投入すると 根と葉が切断された球根が排出されます。
- ◆本機の利用により、25～56%の作業時間の短縮が可能です。特に、初心者では、手作業の半分以下に短縮できます。
- ◆本機で調製した球根の植え付け後の生育は、手作業で調製した球根と同等です。



わけぎ球根の調製作業

開発したわけぎ球根調製機

開発機による作業の効率化の効果

## 技術支援の活用場面

- ◆本機は、株式会社太陽(本社 高知県高知市布師田3950, TEL(088)846-3001)より「わけぎ球根調製機 WA-C3600」として、約25万円で販売されています。
- ◆本機は2014年にJA三原管内の法人に導入され、利用が始まっています。

問い合わせ先 | 農業技術センター 技術支援部 | TEL 082-429-0522